

保護者の皆様

令和5年10月 6日

川崎市立宮内小学校
校長 陸田 由喜子

令和5年度 川崎市学習状況調査、全国学力・学習状況調査
結果の概要と今後の取組について

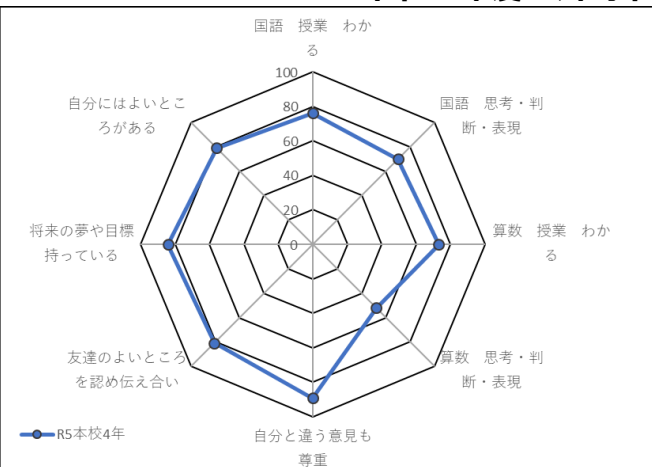
日頃より本校の教育活動にご理解とご協力をいただきありがとうございます。4月12日（水）～13日（木）に行いました4～6年生対象の川崎市学習状況調査の結果と、4月18日（火）に行いました6年生対象の全国学力・学習状況調査の結果をご報告します。本校では学校教育目標（育成を目指す資質・能力、目指す児童像等）の実現に向け、日々の教育活動に取り組んでおり、今後は本調査結果を生かした取組をさらに進めてまいります。なお、本調査によって測定できるのは児童の実態の一部であり、学校における教育活動の側面ですので、本資料につきましては、本校の教育活動の成果と課題を把握するための一つの指標としてお考えください。また取組の様子は、今後の学校だよりや学年だより、学校報告会や説明会等でもお伝えします。

学校教育目標

「心豊かにたくましく生きていく人間の育成」

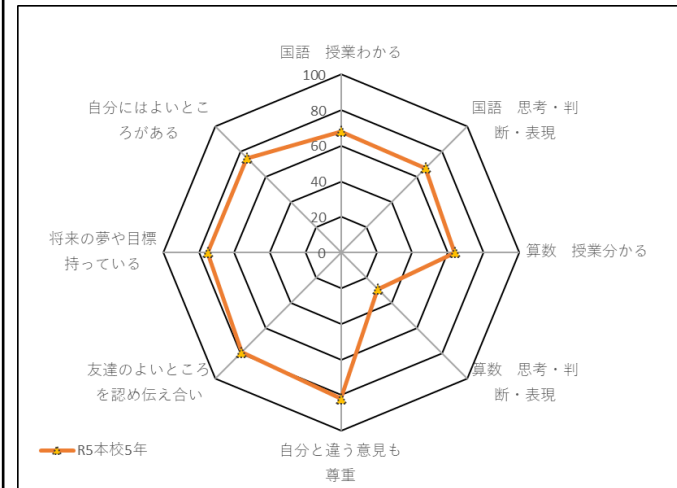
- おおらかに 一人ひとりが思いや願いを表現し、学び合う
- たくましく 自ら課題をもち、すすんで取り組む
- なごやかに 互いに認め合い、協力する

令和5年度 川崎市学習状況調査 4年生



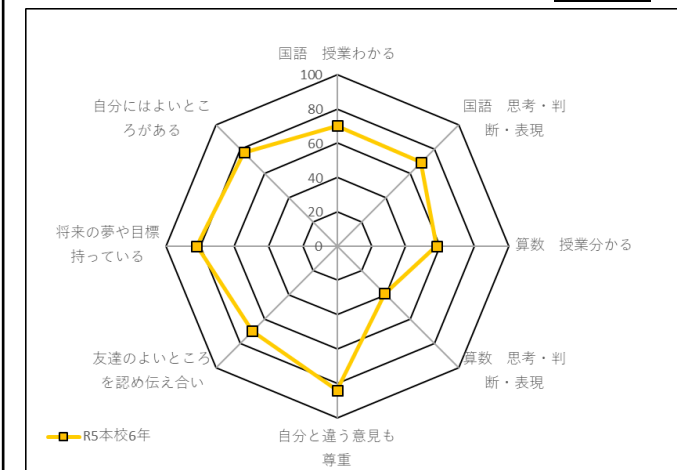
- ・「国語の授業がわかる」は76ポイントでした。授業では自分の考えを整理する時間や課題に対してまとめる時間を大切にして、児童の取組を認める支援を行いながら、児童が「できた実感」を得られるようにします。次年度は5ポイントアップを目指します。
- ・「算数 思考・判断・表現」は52ポイントです。学校教育目標「一人ひとりが思いや願いを表現し、学び合う」を踏まえ、学んだことを生かして筋道を立てて考え、自分と友達の考えの相違点を見つける活動を重視していきます。次年度は5ポイントアップを目指します。
- ・「友達の良いところやがんばりを認めて伝え合っている」は81ポイントです。学校教育目標「互いに認め合い、協力する」を踏まえ、児童が友達と関わり合いながら授業や行事等に取り組むことを大切にしつつ、自分のがんばりや、友達の良かったところを伝え合う活動を重視していきます。次年度は5ポイントアップを目指します。

令和5年度 川崎市学習状況調査 5年生

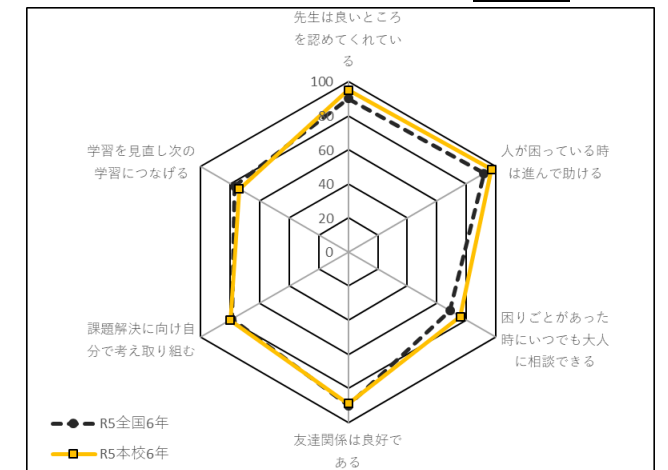


- ・「国語の授業がわかる」は76ポイントでした。また「国語 思考・判断・表現」は67ポイントでした。これまでの取組を継続しながら、表現力の向上を目指して、グループでの話し合いや発表の活動をさらに重視します。次年度は5ポイントアップを目指します。
- ・「算数の授業がわかる」が64ポイントに対し「算数 思考・判断・表現」では、29ポイントと課題となっています。応用問題にもあきらめず粘り強く取り組む部分が課題としてでています。身近な生活場面と算数をつなげて考える活動を重視していき、次年度は5ポイントアップを目指します。
- ・「友達の良いところやがんばりを認め伝え合っている」は79ポイントでした。5年から委員会活動も始まりましたので、学校全体に関わる取組でも、これまで同様によいところやがんばりを伝え合う活動を大切にします。次年度は5ポイントアップを目指します。

令和5年度 川崎市学習状況調査 6年生



全国学力・学習状況調査 6年生



- ・「国語の授業がわかる」は70ポイント。また「国語 思考・判断・表現」は69ポイントでした。全国調査「国語 読むこと」はほぼ全国平均と同等でした。読書活動を充実させるとともに、言葉の意味や表現の仕方に着目して文章を丁寧に読み取り、話し合う活動を重視して、表現力向上を目指します。
- ・「算数 思考・判断・表現」が39ポイントと顕著な課題となっています。全国調査「算数 知識・技能」では全国平均と同等でした。全国調査「学習を見直し次につなげる」の数値が全国平均をやや下回っているため、算数のこれまでの取組を継続していくとともに、自分の学習を振り返って、よかったところを確認したり、次に生かすことを考えたりする活動を行います。見通しと振り返りを大切に授業に取り組んでまいります。
- ・「自分と違う意見も尊重している」については84ポイントと、全国調査「友達関係が良好である」も全国平均と同等でした。また、全国調査「困りごとがあった時に相談できる大人がいる」は全国平均を上回っています。これからも家庭・地域・学校が一体となって児童を支えていく事ができるよう、ご協力をお願いします。
- ・様々な取組で中心となり活躍することが期待されている6年生です。日々の授業や委員会活動、実行委員活動等で、様々な意見のよさを認めて、よりよい考えを導き出す活動を重視し、学校教育目標で掲げている「互いに認め合い、協力する」力の育成を目指します。